

# 資格取得一覧

## 【国家資格】

● 公認心理師	4名
● 薬剤師	1名
● はり師	1名
● きゅう師	1名
● 介護福祉士	1名

## 【学位】

● 修士	2名
------	----

## 【PT・OT・ST協会認定資格】

● 認定理学療法士	17名
運動器	6名
脳卒中	5名
補装具	3名
脊髄障害	1名
徒手理学療法	1名
管理・運営	1名
● 地域ケア会議推進リーダー	10名
● 介護予防推進リーダー	9名
● MTDLP	8名
● フレイル対策推進マネージャー	7名
● 日本理学療法士協会指定管理者上級	5名
● 日本ウィメンズヒル骨盤底筋理学療法	1名

【協会・学会認定資格】

●3学会合同呼吸療法認定士	10名
●福祉住環境コーディネーター2級	16名
●回復期セラピストマネージャー	2名
●介護支援専門員	2名
●シーティング・コンサルタント	1名
●認知症キャラバンメイト	1名
●福祉用具プランナー	1名

【その他】

●BLSヘルスケアプロバイダー	9名
●両立支援コーディネーター	5名
●メンタルヘルスマネージメントⅡ種	2名
●メンタルヘルスマネージメントⅢ種	1名
●日本障害者運転者支援機構 ゴールド認定	2名
●日本障害者運転者支援機構 シルバー認定	1名
●産業カウンセラー	1名
●企業在籍型職場適応援助者	1名
●失語症者向け意思疎通支援者 基礎コース	1名
●認知症ライフパートナー 2級	3名
●離床アドバイザー	1名
●骨粗鬆症リエゾン	1名
●排尿機能検査士	1名
●いたみマネージャー	1名

# 学会発表

## 【2013年】

第14回 日本言語聴覚学会	筋萎縮性側索硬化症にともなうディサースリア2例のフォルトマンの経時的変化	ST
---------------	--------------------------------------	----

## 【2015年】

東京都理学療法協会 第4回 西北部ブロック学術集会	物理療法と運動学習から前脛骨筋の収縮が得られた一例	PT
第4回 東京都言語聴覚士学術大会	欲求が増えたことで、高次脳機能障害が改善した一例	ST
第16回 日本言語聴覚学会	嚥下障害者の経口摂取に向けた当院の取り組み	ST
第16回 日本言語聴覚学会	右被殻出血により失語症と高次脳機能障害を呈したが、 家族の協力と環境設定を行うことで職場復帰に至った一例	ST
リハビリテーション・ケア 合同研究大会 神戸 2015	当院におけるシミュレーションルーム使用効果の検討 ～家屋調査の情報を基に～	OT
リハビリテーション・ケア 合同研究大会 神戸 2015	Honda歩行アシスト使用での歩行能力向上への効果 ～アシスト量調整による歩行速度および歩数への影響～	PT

## 【2016年】

第27回 回復期リハビリテーション病棟協会 研究大会 in 沖縄	生活保護受給者の入院から下肢装具完成までの日数と 完成から退院までの日数調査	PT
第27回 回復期リハビリテーション病棟協会 研究大会 in 沖縄	装具作製者の病棟の移動形態と転帰先の移動形態に 相違が生じる原因についての調査	PT
第27回 回復期リハビリテーション病棟協会 研究大会 in 沖縄	装具作製者における退院時の移動手段の調査と作製目的の検証	PT
第27回 回復期リハビリテーション病棟協会 研究大会 in 沖縄	回復期脳卒中片麻痺患者に対する 体重免荷トレッドミル歩行の即時効果の検討	PT
第8回 日本訪問リハビリテーション協会 学術大会 in 東京	職場での活動時間延長に向けた取り組み	PT

# 学会発表

## 【2017年】

リハビリテーション・ケア 合同研究大会	脳卒中片麻痺患者の道具操作に対するミラーセラピーの効果	OT
日本静脈経腸栄養学会（現：日本臨床栄養代謝学会）	回復期病棟入院患者における 栄養指標の変化とリハビリテーション指標の変化との関連についての検討	ST
第36回 関東甲信越ブロック 理学療法学会	オーバーヘッドリーチとFBSの相関	PT
第29回 回復期リハビリテーション病棟協会 研究大会 in 広島	車いすシーティングクリニック報告 ～退院後に在宅で使用している車いすの種類の調査と分析～	PT
第29回 回復期リハビリテーション病棟協会 研究大会 in 広島	Gait Judge Systemを使用し 装具の選択を行い歩行の向上がみられた一症例	PT

## 【2018年】

第31回 回復期リハビリテーション病棟協会 研究大会 in 岩手	重度上肢麻痺者の上肢機能改善因子の検討	OT
第19回 日本言語聴覚学会	回復期リハビリテーション病棟における失語症者のコミュニケーションに関する 言語聴覚士と看護師の情報共有の検討	ST

## 【2019年】

第53回 日本作業療法学会	不安・抑うつ思考に關与する要因の検討	OT
第6回 日本予防理学療法学会学術大会	バランス能力の比較から見た靴下の選択～生活指導の検討～	PT
第6回 日本予防理学療法学会学術大会	オーバーヘッドリーチと歩行自立度の相関	PT
リハビリテーション・ケア 合同研究大会 金沢 2019	脳卒中片麻痺者の更衣動作自立に必要な体幹機能について	OT
第20回 日本言語聴覚学会	CBAによる多職種議論がチームアプローチを向上させた一例	ST

## 【2020年】

第16回 日本訪問リハビリテーション協会 学術大会 in 高知	生きがいのため、ハシゴを上げるために手すりを自ら作成した事例	OT
---------------------------------	--------------------------------	----

# 学会発表

## 【2021年】

第55回 日本作業療法学会	入院中のリハビリテーションに対する満足度が退院後のストレス対処力に与える影響	OT
リハビリテーション・ケア 合同研究大会 兵庫 2021	回復期リハビリテーション病棟退院時における脳血管障害患者の認知機能と運動機能の関係～CBAの有用性の検討～	PT

## 【2022年】

リハビリテーション・ケア 合同研究大会 苫小牧 2022	当院における誤嚥性肺炎の発生要因について	PT
日本神経理学療法学会学術大会 大阪 2022	脳卒中片麻痺患者の立ち上がり動作における手すりの有無が加速度に与える影響	PT
日本神経理学療法学会学術大会 大阪 2022	脳卒中の立ち上がり動作の加速度の規定要因-SIASに着目して-	PT

## 【2023年】

第10回 日本予防理学療法学会学術大会	回復期リハビリテーション病院における脳卒中患者の退院時サルコペニア関連評価の比較	PT
第10回 日本予防理学療法学会学術大会	回復期リハビリテーション病院退院時の脳卒中患者におけるサルコペニアと転倒関連自己効力感の関連	PT
第42回 東京都理学療法学会学術大会	痙縮に対しキシロカインが有効であった脳卒中片麻痺患者の一例について	PT
日本神経理学療法学会学術大会	浸透圧性脱髄症候群により重度四肢麻痺を呈した患者が病棟内車椅子移動自立となった一例	PT

# 関東カマチグループ 合同学術研究大会 年間学術顕彰

## 【 2016年 】

銀賞	生活保護受給者の入院から下肢装具完成までの日数と完成から退院までの使用日数の調査と今後のあり方	PT
銅賞	嚥下障害者の経口摂取へ向けた当院の取り組み	ST

## 【 2018年 】

銀賞	オーバーヘッドリーチとFBSの相関	PT
----	-------------------	----

## 【 2021年 】

金賞	オーバーヘッドリーチと歩行自立度の相関について	PT
金賞	多職種による独居・身寄りのいない患者への退院支援 ～退院支援に難渋したケースの振り返り～	PT

# 講演会

## 【2017年】

北区 心臓リハビリテーション連携の会	当院入院患者における日中活動量とFIMとの関係	PT
--------------------	-------------------------	----

## 【2018年】

第5回 東京脳卒中チームケア研究会	当院の車いす運用について	PT
-------------------	--------------	----

## 【2019年】

地域医療セミナー	健康寿命のために運動習慣を	PT
第3回 脳卒中医療連携講演会	当院のHANDS療法の取り組みについて	OT
第2回 生活習慣病予防教室	健康寿命を延ばすために～忍び寄る体力低下と要介護リスク～	PT

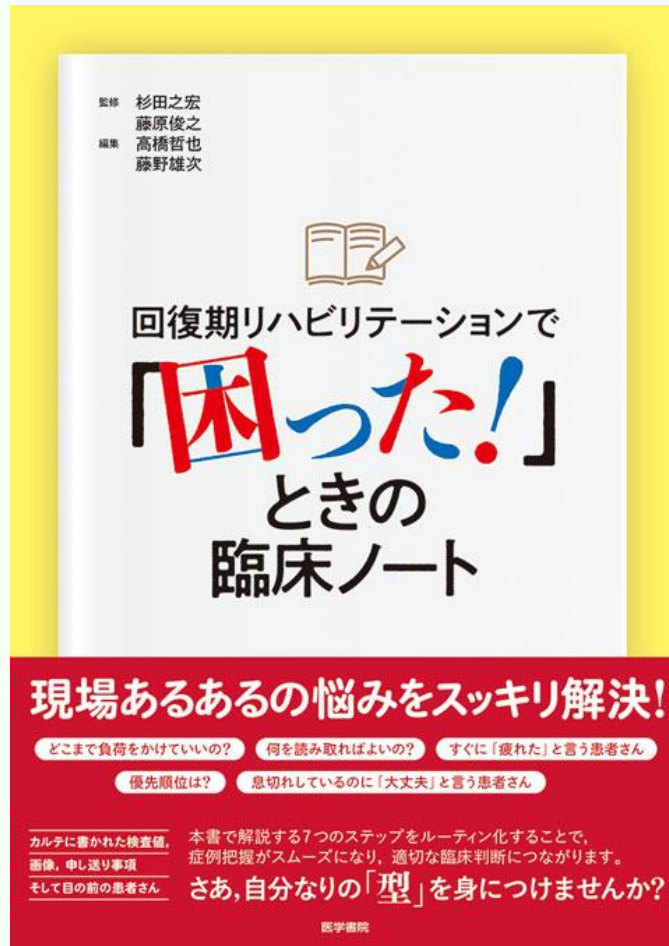
## 【2022年】

東京都区西北部 脳卒中医療連携研修会	回復期病院における脳血管疾患のリハビリテーション～これからの回復期リハの役割～	PT
--------------------	-----------------------------------------	----

## 【2023年】

福祉新聞フォーラム	シーティングでADLは変わる	PT
北区リハネット 研修会	今の移乗動作は本当に正しいの？～日々の悩み多職種で考えてみましょう～	OT
北区リハネット 研修会	北区における失語症サロンの立ち上げ～扉を開き心をつなぐ～	ST

# 書籍 執筆



回復期リハビリテーションで「困った!」ときの臨床ノート  
医学書院,2022年,PT12名共同執筆



日常生活から高次脳機能障害を理解する  
認知関連行動 アセスメント&アプローチ 第2版  
三輪書店,2023年,PT1名共同執筆